

事業番号	05 02 02	事業改善シート（令和7年度実施事業分）				☐ 当初要求 ☐ 当初予算案 ☐ 補正予算案 ☒ 点検			
事業名	救命救急医療対策事業	部局	健康福祉部	課・室	医療政策課				
		実施期間	S54 ～	E-mail	iryoo @ pref.nagano.lg.jp				

1 現状と課題

・救命医療体制の充実に不可欠である救命救急センターの運営状況は、慢性的な赤字状態にある
・全県をカバーする広域救急搬送体制を確保するため、ドクターヘリの運航は効果的である
・適切な救急・災害医療を提供するためには、医療施設・設備の整備を行う必要がある
・平成15年以降の救急救命士による処置範囲の拡大に伴い、その技術や知識の向上が必要である
・長野県DMAT隊員の登録者は500名を超えたが、その技能を維持する研修や訓練を企画する必要がある

2 事業目的

・患者の状態に応じた適切な救急医療が提供される体制を構築する
・災害時においても必要な医療が確保される体制を構築する

3 事業目的を達成するための取組

①救命医療体制の整備	
・重篤救急患者の医療を確保するため、救命救急センターの運営費を支援	
・全県をカバーする広域救急搬送体制を確保するため、ドクターヘリ2機の運航を支援	
・災害拠点病院や病院群輪番制病院が行う施設・設備の整備を支援	
②災害医療体制の整備	
・県の災害、救急医療体制を協議するため、専門家による連絡会を開催	
・災害医療関係者の資質向上のための研修の実施	
・DMATの体制整備のため、協議・検討、隊員の養成、訓練の実施・参加支援を行う	

4 成果指標

(推移の凡例 ↗ : 改善 ↘ : 悪化 → : 変化なし — : 数値なし)

No.	指標名	単位	R5年度	R6年度		R7年度		R7年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移			
①	転棟・転院調整を行う者を常時配置している救命救急センター数	施設	4	5	↗	4	↘	4	達成	救命救急センターとして重症患者等の受入体制を確保していくことが重要であるため、急性期を脱した患者が適切な場所で継続して医療を受けるための転棟・転院を行う体制が維持できるよう設定
②-1	気管挿管技能認定救急救命士再教育講習の累計受講者数	人	403	436	↗	470	↗	472	未達成	メディカルコントロール体制の強化のため、年間で受講できる最大人数が受講するよう設定
②-2	長野県DMAT養成研修修了者数	人	476	517	↗	559	↗	559	達成	県の災害対応力を維持していくため、R6年度と同人数が研修を受講するよう設定

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 (☆印が付いているものは主要目標)	単位	直近3か年の状況						目標	
				年／ 年度	数値	年／ 年度	数値	年／ 年度	数値	年／ 年度	数値
1-5①	健康づくりの推進	☆健康寿命(日常生活が自立している期間の平均)(男性)	位	2022 (R4)	1	2023 (R5)	1	2024 (R6)	1	2026 (R8)	1
1-5①	健康づくりの推進	☆健康寿命(日常生活が自立している期間の平均)(女性)	位	2022 (R4)	1	2023 (R5)	1	2024 (R6)	1	2026 (R8)	1
1-5①	健康づくりの推進	平均寿命(男性)	位	2020 (R2)	2	2021 (R3)	-	2022 (R4)	-	2025 (R7)	1
1-5①	健康づくりの推進	平均寿命(女性)	位	2020 (R2)	4	2021 (R3)	-	2022 (R4)	-	2025 (R7)	1
1-5②	充実した医療・介護提供体制の構築	救命救急センターの充実度評価Aの割合	%	2023 (R5)	100	2024 (R6)	100	2025 (R7)	100	2027 (R9)	100

6 事業コスト

(単位：千円、人)

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R7年度	7,475	1,148,764	△ 137,987	1,018,252	506,408	966,985	2.2
R6年度	0	1,178,810	△ 159,218	1,019,592	494,615	969,294	2.2
R5年度	26,831	1,094,698	△ 173,876	947,653	464,778	928,617	2.2

事業番号	05 02 02	事業改善シート（令和7年度実施事業分）			☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	☒ 点検
事業名	救命救急医療対策事業			部局	健康福祉部	課・室	医療政策課	

7 主な取組実績と成果

①救急医療体制の整備

- ・病院群輪番制病院、災害拠点病院等の機能を強化するため、6施設の施設・設備の整備に対し、総額8,207千円の支援を行った。
- ・救急医療を確保するため、救命救急センターに対する運営費（4施設 195,295千円）や施設・設備整備等（1施設 7,218千円）に対する支援を行った。
- ・広域救急搬送体制を確保するため、信州ドクターヘリ運航費に対する支援（2施設 707,286千円）を行った。
- ・長野県メディカルコントロール協議会を3回開催し、構成員から救急医療に関する意見をいただくとともに、消防士を対象にメディカルコントロールに関する研修を実施し、救急救命処置の質の向上を図った。（気管挿管再教育講習（ビデオ喉頭鏡技能を含む）1回）
- ・急な病気やけが等で、救急車を呼ぶか病院に行くか迷った際の電話相談窓口「長野県救急安心センター（＃7119）」を運営し、救急医療機関や消防機関の負担の軽減を図った（R7年度相談実績18,894件）。また、相談事例への対応について、医師、消防機関職員及び委託事業者を交えた事例検討会を開催し、相談対応の質の向上を図った。

②災害医療体制の整備

- ・災害拠点病院連絡会議を1回、DMAT連絡会議を2回開催し、今後の災害医療体制の整備について検討を行った。
- ・DMATと協働し長野県総合防災訓練に参画し、実際の災害時における医療提供体制の確認等を行った。
- ・地域災害医療コーディネーターをはじめ、地域保健医療福祉調整本部に関わる者を対象とした地域災害医療コーディネート研修を開催した（オンライン108名）。参加者からは、災害時の体制構築方法や関係機関の役割などが学べたと好評いただいた。
- ・DMATの機能強化のため、2施設の派遣用資器材・装備等の整備に対し、総額426千円の支援を行った。

8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	転棟・転院調整を行う者を常時配置している救命救急センター数	R6年度推移	↗	R7年度推移	↘	達成状況	達成
充実度評価項目には医師等の配置状況、搬送受入要請への応需率の把握と改善への取組み、手術室や検査室の体制等があり、運営費への支援や施設・設備の整備に対する補助を行うことにより引き続き目標を達成した。							
指標②-1	気管挿管技能認定救急救命士再教育講習の累計受講者数	R6年度推移	↗	R7年度推移	↗	達成状況	未達成
気管挿管技能の周知・普及拡大により着実に認定者数が増加していることから、技能維持のための再教育講習と実施した。受講者を募ったところ、消防本部から挙げられた人数が定員より2名少なく、目標値を下回った。							
指標②-2	長野県DMAT養成研修修了者数	R6年度推移	↗	R7年度推移	↗	達成状況	達成
県内のDMAT指定病院に広く受講者を募集した結果、定員に達する申込があり、目標値も達成した。							

9 今後の事業の方向性

(1) 上記7、8及び県民の意見等を踏まえた課題

- ・救急搬送人員数が増加する中で、救命救急センターとして重症患者等の受入体制を確保していくことが重要であり、各救命救急センターの機能の強化や質の向上が課題である。
- ・気管挿管技能等の救急救命士が行う特定行為は実施の機会が限られることから、質の維持・向上が課題である。県内統一の救急隊員の標準的な活動内容を定めたプロトコルの運用には、適切な観察等に関する教育体制の構築が課題である。
- ・災害時に迅速に医療提供体制を確保するためには、DMAT隊員の継続的な養成と、養成後の技能維持が重要である。
- ・令和6年能登半島地震における対応では、DMAT活動の長期化や被災地からの患者搬送の方法等、様々な課題が見つかった。
- ・令和7年度に従来の災害医療本部体制から保健医療福祉調整本部による体制に移行したため、災害時における保健、医療、福祉の更なる連携強化が必要である。

(2) 事業改善の方策

- ・各救命救急センターの機能向上に向け、有識者による評価と改善提案を行う救急医療機能評価会議を今後も継続的に実施していく。
- ・適切に特定行為を実施できるように研修会・講習会の充実を図るほか、脳卒中及び急性冠症候群に関する県内統一のプロトコルの運用・評価を行うことにより、メディカルコントロール体制の強化を図り、救急医療提供体制の確保を図っていく。
- ・DMATの体制強化に向け、DMAT養成研修やDMAT技能維持研修等を継続的に実施し、DMAT隊員の確保と資質向上を図っていく。
- ・各種災害医療に関する訓練・研修について、保健、医療、福祉がより円滑な連携を図るための内容にブラッシュアップし、災害医療提供体制の確保を図っていく。

事業名	救命救急医療対策事業	部局	健康福祉部	課・室	医療政策課
-----	------------	----	-------	-----	-------

細事業No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
1	救急緊急医療費損失補てん事業		2,363 千円	2,363 千円	2,363 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	救急緊急医療費損失補てん事業補助金	補助金	医療機関が救急医療を提供した結果、未収となった医療費に対して補助 15施設、2,363千円を補助		

細事業No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
2	広域災害・救急医療情報システム運営事業		40,683 千円	29,590 千円	26,487 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	広域災害・救急医療情報システム運営事業	直接委託	システムの賃借及び運営の委託 システムの賃借料25,368千円、運営委託料1,119千円		

細事業No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
3	長野県救急医療機能評価会議運営事業		0 千円	174 千円	158 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	長野県救急医療機能評価会議の開催	直接	県内の救命救急センターの機能を評価する評価会議を開催 1回開催		

細事業No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
4	救命救急センター運営費補助金		224,850 千円	221,934 千円	195,295 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	救命救急センター運営費補助金	補助金	救命救急センターの運営費（給与費、材料費等）を支援 4施設、195,295千円を補助		

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
5	ドクターヘリ運航事業		596,016 千円	656,655 千円	707,294 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	ドクターヘリの運航	補助金	ドクターヘリの運航に要する経費を支援 2施設、707,286千円を補助		
2	電波利用料負担金	負担金	ドクターヘリの運航に係る無線局の電波利用料を負担 2機分		

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
6	救急医療対策費施設・設備整備事業		47,173 千円	39,777 千円	15,415 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	救急医療対策費施設・設備整備事業補助金	補助金	病院群輪番制病院や地域災害拠点病院等の施設・設備の整備を支援 7施設、15,415千円を補助		

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
7	長野県メディカルコントロール協議会		460 千円	753 千円	475 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	長野県メディカルコントロール協議会及び部会の開催	直接	長野県メディカルコントロール協議会及び部会を開催 協議会3回、統一プロトコル運用連絡会1回開催		
2	気管挿管技能認定救急救命士再教育講習の実施	直接	気管挿管技能認定救急救命士に対する再教育講習を実施 1回開催		
3	メディカルコントロールに関する講習会の実施	直接	消防機関を対象に、脳卒中・急性冠症候群に関する統一プロトコルに関する講習会を開催 1回開催		

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
8	災害医療体制整備事業		7,910 千円	7,105 千円	7,624 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	災害拠点病院連絡会議、DMAT連絡会議の開催	直接	災害拠点病院連絡会議、DMAT連絡会議等の開催 開催数 災害拠点病院連絡会議 1回、DMAT連絡会議 2回		
2	災害医療研修会等の実施	直接 委託	災害医療関係者の資質向上のための災害医療研修会の実施 開催数 災害医療研修会 1回		
3	長野県DMAT養成研修等の実施	直接 委託 補助金	・災害時に長野県DMATとして活動する者を養成 ・長野県DMATの資質向上のための研修を実施 養成数：長野県DMAT隊員42名 開催数：長野県DMAT養成研修 1回		
4	総合防災訓練等参加支援事業	補助金	政府主催総合防災訓練へ参加する病院に対して参加経費を補助 補助対象医療機関数 8病院		
5	DMAT等活動保険料	直接	災害発生時に派遣するDMAT隊員等を対象とした傷害保険に加入 必要な傷害保険に加入		
6	航空搬送拠点臨時医療施設（SCU）運用体制の整備	直接	SCU設置運営訓練等の実施 SCU用医療機器の点検・更新 シリンジポンプ2台の更新		
7	災害時情報通信体制等の整備	直接	災害時情報伝達研修の実施 衛星携帯電話等による災害時通信体制の構築 E M I S 操作研修 1回 各保健所に衛星携帯電話（12台）を整備		

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
9	救急安心センター（#7119）事業		9,162 千円	10,943 千円	11,874 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	救急安心センター（#7119）の設置	委託	医療機関が外来診療を行っていない時間帯（夜間・早朝及び休日）に住民からの電話相談に応じる窓口を設置 電話相談窓口設置日数365日、相談件数18,894件		
2	救急安心センター（#7119）の広報	委託	救急安心センター（#7119）の普及・啓発を実施 Web広告の配信（視聴回数約31.7万回）、広報用のポスターデータ等を作成		